

地域の健康づくりの拠点となる薬局をサポート

薬局

人材育成

商品開発

女子栄養大学とウエルシア薬局株式会社は、2018年に産学連携包括協定を結び、管理栄養士の再教育として、大学院のプログラムを利用した研修が3年計画で開始されました。研修内容は、既存のプログラムの該当科目に、薬局のニーズに応じた科目を追加する工夫をして、提供しています。

全国約1,800店舗を数えるウエルシア薬局では、地域住民の健康や栄養のニーズに応えるため、管理栄養士が活躍し始めています。それを後押しする人材の再教育として、本大学で研修を受けた修了生が次は講師となって全国の管理栄養士の社員を教育するシステムへとつながっています。

また2019年には、健康をテーマにした商品の共同開発にも取り組みました。

【活動内容】

● 地域に貢献できる管理栄養士の人材育成をサポート

地域の健康づくりの拠点となる薬局で活躍できる管理栄養士の人材育成として、ニーズにあった研修内容へとプログラムを調整し、大学院レベルの学修の機会を提供しています。

〈ウエルシア薬局株式会社〉

病気になる前、あるいは病後の回復期など、日々の食事についての的確なアドバイスができる管理栄養士の専門的知識は、薬局店舗において必要

社員(管理栄養士)の専門性を高め、地域に貢献できる人材育成

全国から20人ほどの社員(管理栄養士)が受講

プログラム(講座)履修者の中から管理栄養士リーダーを選抜

そのリーダーが講師となって、全国の管理栄養士の社員を教育

管理栄養士の専門性の向上

社会や地域の方々の健康な暮らしの実現へ

〈女子栄養大学〉

健康寿命の延伸が社会的課題となる中、適切な食品選択ができ、必要な情報提供が行われる食環境の整備、そこで活躍する管理栄養士の人材育成が必要

- 大学院に文科省の社会人の学び直しのコースBP (Brush up Program for Professional) として認定されている「**Nutrition ブラッシュアッププログラム 食環境**」の履修証明プログラムのうち、栄養政策・食環境整備の動向、食事摂取基準2020年版、関係学会診療ガイドラインに関する科目
- ウエルシア薬局の**ニーズに応じた特別科目** (特定保健指導、居宅療養管理指導) を追加したプログラムを提供



2019年度受講生と。中央左が武見ゆかり教授、右が府川則子准教授(居宅療養管理指導を担当)

● 健康をテーマにした商品の共同開発

2019年4月、ウエルシア薬局株式会社のプライベートブランド商品として、「女子栄養大学監修 大豆まるごとヨーグルト」(監修：食品化学研究室 宮澤紀子専任講師)が発売されました(販売は2019年12月まで)。



ウエルシア薬局が社会や地域のために目指す姿

ウエルシア薬局は、地域のお客さまの豊かな社会生活と健康な暮らしをサポートできるドラッグストアの実現を目指しています。

薬局で働く管理栄養士は、店舗内の商品管理や販売業務を行う一方で、健康・栄養相談会の開催や、地域包括支援センターとの共催によるセミナーで運動や食事に関する情報発信など、地域からの健康・栄養に関するニーズに応えるための活動も行っています。

こうした管理栄養士の専門性を高め、社会や地域のお客さまの健康な暮らしに貢献できるよう、従業員の人材育成に力を入れています。

女子栄養大学 武見ゆかり教授 (大学院研究科長)からのメッセージ

私たちが大学キャンパス近くのウエルシア若葉駅東口店と協働で実施したフレイルチェックイベントに参加された方の8-9割は、今まで栄養相談を受けたことのない方でした。しかし、一部の方にはプレフレイル、フレイルのリスクがみられました。地域の薬局・ドラッグストアは、住民の身近な健康・栄養相談の場として、ますます役割が重要になるでしょう。

大学院は、専門職である社会人の学び直しの場として、求められる学修の機会を一緒に創り出すことができます。